

都立光丘高等学校令和4年度 教科公民科目現代社会 年間授業計画

教科：公民 科目：現代社会 単位数：2単位

対象学年組：第3学年1組～6組

教科担当者：1組～6組：赤嶺

使用教科書：（最新現代社会 新訂版（現社315）（実教出版））

使用教材：（2022 ズームアップ現代社会資料新訂版（実教出版））

指導内容	科目現代社会の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>4月</p> <p>第2部 現代の社会と人間 2. 現代民主政治と日本国憲法 第1章 現代国家と民主政治 1. 民主政治の成立 2. 民主政治の基本原則 3. 民主政治のしくみと課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会における諸課題を扱う中で、社会の在り方を考察する基盤としての幸福、正義、公正などの枠組みについて理解する。 ・現代社会に対する関心を高め、いかに生きるかを主体的に考察することの大切さを自覚する。 ・人権の保障、国民主権、議会制民主主義、権力分立、法の支配など民主政治の基本原則などについて理解を深める。 ・民主政治における個人と国家について考察する。 ・政治参加の重要性と民主社会において自ら生きる倫理について自覚を深め、主権者としての意識を身に付ける。 	<p>定期考査、出欠を含めた授業態度を総合的に評価する。特に、高校卒業後の進学・就職を控える立場であることを踏まえ、社会人としての態度を涵養する為、授業内の遅刻及び提出物の未提出については厳しく指導を行うとともに評価に加味する。</p>	6

	指導内容	科目現代社会の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	<p>2. 現代民主政治と日本国憲法</p> <p>第1章 現代国家と民主政治</p> <p>4. 世界の主な政治制度</p> <p>第2章 日本国憲法の基本的性格</p> <p>1. 日本国憲法の制定</p> <p>2. 日本国憲法の基本的性格</p> <p>3. 自由に生きる権利</p> <p>*1学期中間考査</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人権の保障，国民主権，議会制民主主義，権力分立，法の支配など民主政治の基本原則などについて理解を深める。 ・民主政治における個人と国家について考察する。 ・政治参加の重要性と民主社会において自ら生きる倫理について自覚を深め，主権者としての意識を身に付ける。 ・日本国憲法の成立過程及び日本国憲法に定める基本的人権の保障，平和主義について理解を深める。 ・生命の尊重，自由・権利と責任・義務，人間の尊厳と平等などについて考察する。 	<p>定期考査、出欠を含めた授業態度を総合的に評価する。</p> <p>特に、高校卒業後の進学・就職を控える立場であることを踏まえ、社会人としての態度を涵養する為、授業内の遅刻及び提出物の未提出については厳しく指導を行うとともに評価に加味する。</p>	6

	指導内容	科目現代社会の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	<p>第2章 日本国憲法の基本的性格</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. 平等に生きる権利 5. 社会権と参政権・請求権 6. 新しい人権 7. 人権保障の広がり と 公共の福祉 8. 平和主義とわが国の安全 9. こんにちの防衛問題 <p>第3章 日本の政治機構と政治参加</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 政治機構と国会 2. 行政権と行政機能の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ・生命の尊重, 自由・権利と責任・義務, 人間の尊厳と平等などについて考察する。 ・日本の安全を守る安全保障政策について理解するとともにこれからの防衛政策について考察する。 ・日本の行政, 立法制度について理解を深める。 	<p>定期考査、出欠を含めた授業態度を総合的に評価する。 特に、高校卒業後の進学・就職を控える立場であることを踏まえ、社会人としての態度を涵養する為、授業内の遅刻及び提出物の未提出については厳しく指導を行うとともに評価に加味する。</p>	9

	指導内容	科目現代社会の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月	<p>2 現代の民主政治と日本国憲法 第3章 日本の政治機構と政治参加 3. 公正な裁判の保障 4. 地方自治と住民福祉</p> <p>*1学期期末考査</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の司法制度について理解を深める。 ・民主政治における個人と国家について考察する。 ・法や規範の意義や役割について理解を深め、法意識を高める。 ・地方自治の意味を理解する。 	<p>定期考査、出欠を含めた授業態度を総合的に評価する。特に、高校卒業後の進学・就職を控える立場であることを踏まえ、社会人としての態度を涵養する為、授業内の遅刻及び提出物の未提出については厳しく指導を行うとともに評価に加味する。</p>	2

8月	指導内容	科目現代社会の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数

	指導内容	科目現代社会の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	第3章 日本の政治機構と政治参加 5. 政党政治 6. 選挙制度 7. 世論と政治参加 3 現代の経済社会と国民生活 第1章 現代の経済社会 1. 経済主体と経済活動の意義 2. 経済社会の変容	<ul style="list-style-type: none"> ・政治参加の重要性と民主社会において、自ら生きる倫理について自覚を深めさせ、主権者としての意識を身に付ける。 ・現代の経済社会の変容について理解を深める。 	定期考査、出欠を含めた授業態度を総合的に評価する。 特に、高校卒業後の進学・就職を控える立場であることを踏まえ、社会人としての態度を涵養する為、授業内の遅刻及び提出物の未提出については厳しく指導を行うとともに評価に加味する。	6

	指導内容	科目現代社会の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	<p>3. 現代の経済社会と国民生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の経済社会 ・日本経済の特質と国民生活 <p>*2学期中間考査</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の経済社会の変容について理解を深める。 	<p>定期考査、出欠を含めた授業態度を総合的に評価する。特に、高校卒業後の進学・就職を控える立場であることを踏まえ、社会人としての態度を涵養する為、授業内の遅刻及び提出物の未提出については厳しく指導を行うとともに評価に加味する。</p>	8

	指導内容	科目現代社会の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	3 現代の経済社会と国民生活 第1章 現代の経済社会 3. 市場のしくみ 4. 市場の失敗 5. 現代の企業 6. 国民所得 7. 経済成長と国民の福祉 8. 金融の役割 9. 日本銀行の役割 10. 財政の役割と租税 11. 日本の財政の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市場機構の機能と限界を理解させ、市場の問題点を考察する。 ・個人や企業の経済活動における役割と責任について考察する。 ・経済成長や景気変動と国民福祉の向上の関連について考察する。 ・政府の役割と財政，租税，金融について理解を深めさせ，日本の経済政策の方向性を考察する。 	定期考査、出欠を含めた授業態度を総合的に評価する。特に、高校卒業後の進学・就職を控える立場であることを踏まえ、社会人としての態度を涵養する為、授業内の遅刻及び提出物の未提出については厳しく指導を行うとともに評価に加味する。	8

	指導内容	科目現代社会の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	<p>3. 現代の経済社会と国民生活 第2章 日本経済の特質と国民生活</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 戦後復興から高度経済成長へ 2. 安定成長からバブル経済へ 3. 日本経済の課題 4. 日本の中小企業 <p>*2学期期末考査</p>	<p>・日本経済の現状がどのように成り立っているのか理解を深める。</p>	<p>定期考査、出欠を含めた授業態度を総合的に評価する。特に、高校卒業後の進学・就職を控える立場であることを踏まえ、社会人としての態度を涵養する為、授業内の遅刻及び提出物の未提出については厳しく指導を行うとともに評価に加味する。</p>	5

指導内容	科目現代社会の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>第2章 日本経済の特質と国民生活</p> <p>3. 現代の経済社会と国民生活</p> <p>5. 日本の農業</p> <p>6. 消費者問題</p> <p>7. 公害の防止と環境保全</p> <p>8. 労働問題と労働者の権利</p> <p>9. こんにちの労働問題</p> <p>10. 社会保障の役割</p> <p>11. 社会保障制度の課題</p> <p>* 学年末考査</p> <p>1月</p>	<p>・日本の雇用，労働，社会保障について理解を深めるとともに今後の在り方について考察する</p>	<p>定期考査、出欠を含めた授業態度を総合的に評価する。特に、高校卒業後の進学・就職を控える立場であることを踏まえ、社会人としての態度を涵養する為、授業内の遅刻及び提出物の未提出については厳しく指導を行うとともに評価に加味する。</p>	6

2月	指導内容	科目現代社会の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数

	指導内容	科目現代社会の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月				